

クラッシー

CLASSY

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター
 企画 イースタンコミュニケーションズ
 印刷 株式会社 東兄弟 TEL 0943-24-2111
 八女市祈禱院563 〒834-0025
 HP:www.dcity-yame.com
 E-mail higashikeitei@tea.ocn.ne.jp

クラッシーのバックナンバー（2010.1.1号より）がインターネットでご覧になれます。
 「デジタルシティやめ」→クラッシー→検索

11 NOV

	日	月	火	水	木	金	土	
				1	2	3	4	5
12	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30	31			

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
1 9月20日 仏滅 池田つた子 画業30年の歩み ~11月23日 (八女市横町家交流館)	2 21日 大安 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	3 22日 赤口 文化の日 田主丸かつぱウォーク (八女歩こう会) 良縁成就祭&秋色マルシェ恋びより 恋木神社 (水田天満宮内) 渡辺美里日本全国ツアー (サザンクス筑後大ホール)	4 23日 先勝	5 24日 友引 弁護士無料法律相談 (福岡法務局八女支局) 要予約 ☎050-3383-5502	6 25日 先負 なんでも人権相談所 (八女市役所星野支所)	7 26日 仏滅
8 27日 大安 八女軽トラ市9:00~12:00 (八女観光物産館駐車場) 寄席演芸 (サザンクス筑後小ホール) 古墳出土の飾り太刀 (広川町古墳公園資料館企画展・~12月6日) 奥八女黒木ハーフマラソン大会	9 28日 赤口	10 29日 先勝	11 30日 友引 なんでも人権相談所 (筑後市中央公民館)	12 10月1日 仏滅	13 2日 大安	14 3日 赤口 緋の里巡り in 筑後 ~15日(筑後市久富、西牟田、高江地区一帯)
15 4日 先勝 健康と食育の祭典 (サザンクス筑後)	16 5日 友引 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	17 6日 先負 無料弁護士法律相談 13:30~(八女民主商工会) 要予約 ☎24-2727	18 7日 仏滅	19 8日 大安 弁護士無料法律相談 (福岡法務局八女支局) 要予約 ☎050-3383-5502	20 9日 赤口 定例法律相談会(要予約) 10:00~12:00 (八女商工会議所) ☎22-5161	21 10日 先勝 人生史サークル黄檗の会 (福祉会館) 道の駅たちばな大収穫祭 ~29日(日)まで
22 11日 友引 八女軽トラ市9:00~12:00 (八女観光物産館駐車場) 清水山もみじウォーク (八女歩こう会) スガダイロージャズコンサート (サザンクス筑後大ホール) 石人山古墳シンポジウム (広川町古墳公園資料館) 筑後七国まかない飯グランプリ (筑後広域公園)	23 小雪 先負 勤労感謝の日 八女グリーンクラブ 30周年記念コンサート (おりなす八女) 里山コンサート 2015 (笠原東交流センター「えがおの森」)	24 13日 仏滅	25 14日 大安	26 15日 赤口 お風呂の日(特典あります) (グリーンピア八女)(公園の宿)(温泉館きらら)(べんがら村)	27 16日 先勝	28 17日 友引 ミニ健康教室 (14:00~15:00) 認知症ってなんだろう! 川崎病院 要予約 ☎23-3005 ヤンマー建機感謝祭 10:00~ (ヤンマー建機本社工場)
29 18日 先負 環境フェスタ in ちくご (八女西部リサイクルプラザ)	30 19日 仏滅 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	心配ごと相談(八女市) 八女市社会福祉会館 11月4日・18日 黒木町ふじの里 11月4日・18日 上陽町地域福祉センター 11月11日・25日 立花町かがやき 11月11日・25日 法律相談(要予約) 八女市社会福祉会館 11月13日 黒木町ふじの里 11月20日 上陽町地域福祉センター 11月27日		司法書士相談 黒木町ふじの里 11月13日 八女市社会福祉会館 11月20日 筑後市 心配ごと相談 毎週木曜日/総合福祉センター		筑後市立図書館11月のイベント 10月27日~11月9日は読書週間 ●おはなし会 毎週土曜日(11:00~30分程度) ●ゆっくり読書タイム(要申し込み) (11月12日(木)・9:30~15:00・筑後市立図書館) ●はなちゃんのみそ汁の著者 安武信吾氏講演会 (11月22日(日)・10:00~・サンコア)

「冬の光に移りてさすを目に見ゆる時の流れといひて寂しむ」佐藤佐太郎の一首を『句歌歳時記』編著山本健吉(冬)の巻に眼をとめながら早や寒気つるの11月の暦。▼八女の里にゆかりも深きこの山本健吉資料室「開室一周年記念文学講演会」、去る九月二十六日。「父・健吉をめぐる人々を語る」のは、蟬時雨児は擔送車に追いつけずの絶句で知られる母は俳人石橋秀野の御令嬢石橋安見子さん。祖父忍月(文芸評論家)のゆかりも深い八女の里へ、惠贈の文献豊富な資料、早々の整備を念願力説の画家杉山洋氏の尽力も仄聞していたが、一応の整備完成。出来得れば「八女・矢部川流域文学記念館」の設立が望まれる。▼10/7、四回にわたる「久留米大学公開講座「ギターと共に楽しむ筑後の文学・椎窓猛の世界」」狩野啓子教授指導のもとに、ラストは拙作『イノシシ退治は苦笑い』文芸評論界では一部評価を受けた40代の創作。このように一般の方に読みあげていた、機会に恵まれたことは老文学青年にとって光榮至福。▼11/25、第23回福岡県文化賞贈呈式・記念イベント・創造部門受賞者は、八女剣持出身の作家安部龍太郎氏。玄海灘をこえて拡がる東洋国家一帯へ創作。「神宿る島・沖の島」を背景とする、『姫に感銘を受ける。

冬の光に 移りての想い
 詩人 椎窓 猛